

第25期 第8回常任理事会議事録

日 時：平成元年6月27日（火）13：30～16：40

場 所：観測部会議室

出席者：浅井、竹内、荒川、能登、中村、村上、村松

議 事

A. 報告事項

1. 第25期第3回理事会議事録は一部修正の上承認された。
2. 平成元年度総会議事録は一部修正の上承認された。
3. 各委員会報告

「庶務」

主なものは次の通り

1. 文部省の研究成果公開促進費交付の内定通知があった。
2. 6月15日現在の各支部長

北海道	黒沢真喜人	札幌管区気象台
東 北	小長 俊二	仙台管区気象台
中 部	原田 朗	名古屋地方気象台
関 西	村松 久史	京都大学防災研究所
九 州	多田 利義	福岡管区気象台
沖 縄	新田 尚	沖縄気象台

「会計」

5月分の収支について説明があった。

「天気」

- ・6月号の内容と、7、8月号の予定が報告された。
- ・「天気」の印刷方式の変更について検討に入った。
- ・今後、解説記事を充実していく予定

「気象集誌」

- ・印刷方式が変わり、1、2号の発行が遅れたが3号から順調に発行できる見通しとなった。
- ・4号の内容が報告された。8月中に発行の予定。

「奨励金」

天気5月号で受領候補者募集中。各支部長にも推薦の依頼をしてある。

「講演企画」

中村理事が木田理事に代り報告をした。

- ・春季大会の口頭発表の方式は好評であった。アンケートの反応も大部分が賛成であった。
- ・韓国気象学会会長の秋季大会記念講演は2日目の午後に40分ぐらいの予定で検討している。8月下

旬決定

- ・秋のスペシャル・セッションは「梅雨」関連のものが予定されている。

「総合計画」

中村理事が木田理事に代り報告した。

- ・「山本・正野論文賞」に関する申し合わせ案を全理事に送り、確認の上承認してもらう手続きをとる予定。
- ・AGU-WPGM に関する陸水関連委員会には委員を出さない旨、連絡した。

「IAMAP-93 作業委員会」

資料に基づいて第3回作業委員会の報告があった。主なものは次の通り。

- ・IAHS の総会は日本での開催が決まっている。開催方式として同一会期・場所でジョイントのシンポジウム等を企画する方向で、陸水研連と調整する。
 - ・会期 8月9日—23日が第1候補。
 - ・会場 横浜 PACIFICO が有力（1991年完成予定）
 - ・メインテーマとして次のような案があがった。
 「大気・陸水域の相互作用」、「自然災害」、
 「モンスーン」、この他に「地球観測システム」、
 「長期予報」等の案が出た。今後さらに検討する。
 また、WMOとの共催セッションも設ける。
 - ・事務局がおかれる気象研究所から、事務局長及び幹事5名のリストが提出された。8月の正式決定を待つて気象庁・大学側からのメンバーを拡充する。
 - ・経費約6000万円、登録料収入約1800万円（600人）等が見込まれるが、日本学術会議の補助金を見込んでもなお多額の寄付金の援助を必要とする。
- 「その他」 「IAMAP 第6回総会の日本開催について」の計画概要等を学術会議会長に宛て文書連絡する旨、理事長から報告があった。

B. 審議事項

1. 会員の新規加入
 新規加入 22名、退会1名が承認された。
2. 委員の変更が次の通り承認された。

7. 「奨励金及び各賞推薦」委員

新委員 加藤 政勝 東京管区気象台
平沢 正信 気象研究所

旧委員 森 秀雄 東京航空地方気象台
八木 正允 秋田地方気象台

1. 「国際学術交流」委員

新委員 清水 正義 海洋気象部

旧委員 浅田 暢彦 日本気象協会

3. 電子掲示板について

パソコン通信ネットワークのホスト局運営業務の契約内容が「案」に基づいて審議された。契約期間・更改の項をいれるなど一部修正の上承認され7月中に契約し、8月から実施されることになった。

4. 山本賞候補者について

村上担当理事より平成元年度の山本賞候補者が紹介された。今後、全国理事の投票をすることになった。

なお席上、論文の対象となる期間は年で（前年、前前年）、しかし、賞自体の授与は年度であるこ

とが確認された。

（平成元年度の山本賞は昭和63年1月—12月または昭和62年1月—12月に発表された論文を対象とする）

5. 学会の持ち方について

地震学会長、地球電磁気・地球惑星圏学会長から地球物理学に関連する諸学会の春季大会を同時に開催したいとの意向打診があり審議が行われた。会場、時期、総会、定款との関わりなどテクニカルな問題、また学術的な意義などについて議論されたが、結論を出さずに次の常任理事会で審議することとした。

6. その他

気象学会入会案内の内容について、会員外に対する機関誌の価格など一部改訂の必要がある。外国会員及び外国在住会員からの会費納入の方法、会費をドル建てから円建てにすることなどの問題が事務局から指摘された。これらの点について事務局・庶務、会計担当で調査し、改善案を出すこととなった。

編集後記：予知の難しさを改めて認識させた伊東沖の火山活動は一段落した(?)ようですが、天気の方は、すなおな梅雨明けで「夏らしい夏」という感じですが、と言っているだけでは長期予報としては不十分なのでしょうが……。

さて、「天気」編集委員会では、天気の印刷方法について検討中です。先日、印刷会社に行き、現在の活版方式、今後、ますます盛んになりそうな電算機を使った平版方式を見学させていただきました。前者は、音もうるさく、まさに職人さんと呼ばれるべき中高年熟練労働者の職場、後者は、若い人もいっぱいいる計算機端末室の

ような職場でした。

確かに活版を扱える人はますます少なくなるようで、今後10数年間で、無くなることはないらしいですが、経済的に高額になるかもしれない、また、保存版からの重版が難しくなりつつあるということでした。将来的にはいづれ平版へ移行することになるだろうということですが、いつの段階で移行すべきか議論されています。

一足先に電算方式を取り入れている「気象集誌」の印刷についての感想や、今後の「天気」印刷方法についてのご意見なども編集委員会へお寄せ下さい。（日の光）